

概要版

福島県立博物館の使命

福島県立博物館は、昭和61年に県立の総合博物館として開館し、これまで県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、さまざまな活動を行ってきました。博物館をとりまく社会情勢が変化の中で、多様化する要請に配慮しながら、社会に対する当館の責務を使命として明示し、新しい時代の博物館として目指すべき活動方針をとりまとめ、その内容を公表します。

I ふくしま発見 博物館

ふくしまの歴史・文化遺産と自然史資料をもとに、ふくしまの歴史・文化そしてそれを育んだ自然に関する情報を提供し、利用者の皆さまとともに、地域文化の価値を学び、新たな文化を創り出します。

II 出合いふれあい 博物館

文化の多様性を尊重し、地域とすべての人に開かれ、人と人が自由に交流し語り合える博物館を目指します。そのために、皆さまの心の拠り所となり、自ら学び体験できる場を創出します。

III 明日に向かう 博物館

震災の継承や博物館相互の連携強化を軸にした未来志向の取り組みを通して、発信力のある力強い博物館を目指します。災害や社会情勢の変化に対応し、行政や文化施設・諸団体と連携して、様々な課題に取り組みます。



使命を果たすため、以下の10項目の活動を実践します。活動方針に沿って、とくに重点的に進める具体的な目標は、期間を定めて策定する「福島県立博物館中期目標」として公表します。



活動方針と中期目標

【第3期 2019～2023年度】

使命Ⅰ ふくしま発見 博物館

活動方針

1 地域の文化遺産の収集と継承

- 検索が楽しめるデータベースの構築と公開方法の改善
- 図書利用環境の整備
- 資料の安全な保存

活動方針

2 最新の研究による新たな資料価値の発見

- 多様な連携による新たな研究活動

活動方針

3 来るたびに発見がある展示・講座

- 何度でも足を運びたくなる展示づくり
- 博物館の魅力が詰まった新しいスタイルの講座の開催
- 新しい展示ストーリーの検討

使命Ⅱ 出会いふれあい 博物館

活動方針

4 楽しめて出会いのある場の創出

- 展示室以外の空間の有効活用
- 多様な利用者層に対応したプログラムの実施

活動方針

5 利用者との協働

- ボランティアとの協働
- 利用者の自主的な文化活動支援
- 協働による新たな事業運営の枠組みの構築

活動方針

6 博物館情報の公開と発信

- 情報の効果的な周知
- 親しみやすさと認知度の向上

活動方針

7 地域連携とネットワークの拠点

- 県内の各機関・団体との連携による新たな文化活動の創造

使命Ⅲ 明日に向かう 博物館

活動方針

8 震災遺産の保全・活用による東日本大震災の共有と継承

- 震災遺産の展示公開と利活用

活動方針

9 新たな博物館の役割・機能の創出

- 地域社会の現状への貢献

活動方針

10 管理運営

- 施設の安全で快適な環境整備